

路線名	花ノ木平線	事業名	県営林作業道補修工事		
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3級	設計速度	20km/h
年度	令和8年度	施工主体	埼玉県農林公社		
名称	平面図・縦断面図(1号箇所)		1	葉中	1番
施行地	ときがわ町地内				
縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	審査者		設計者	

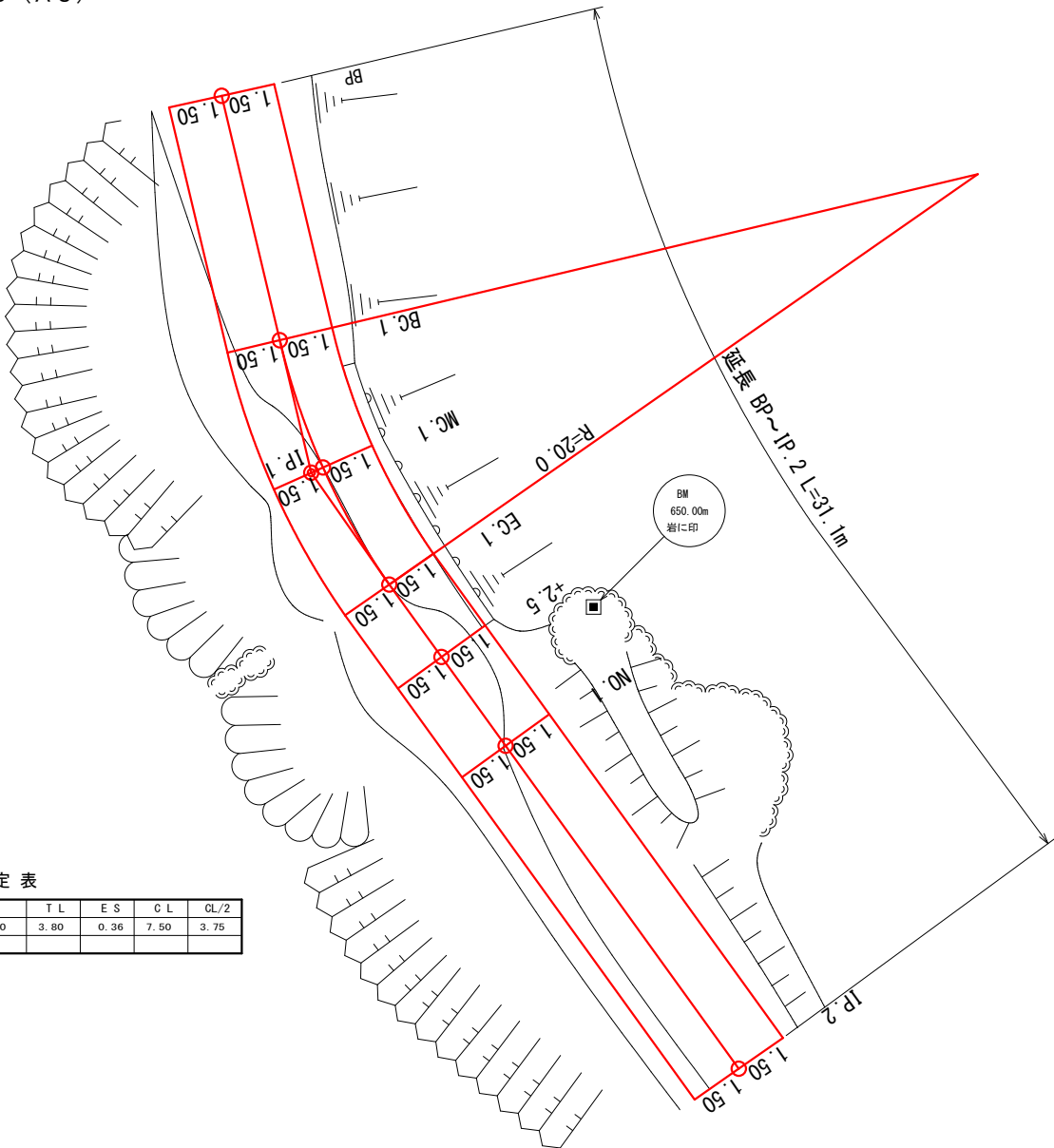
平面図・縦断面図・横断面図 S=1:100

平面図

横断面図

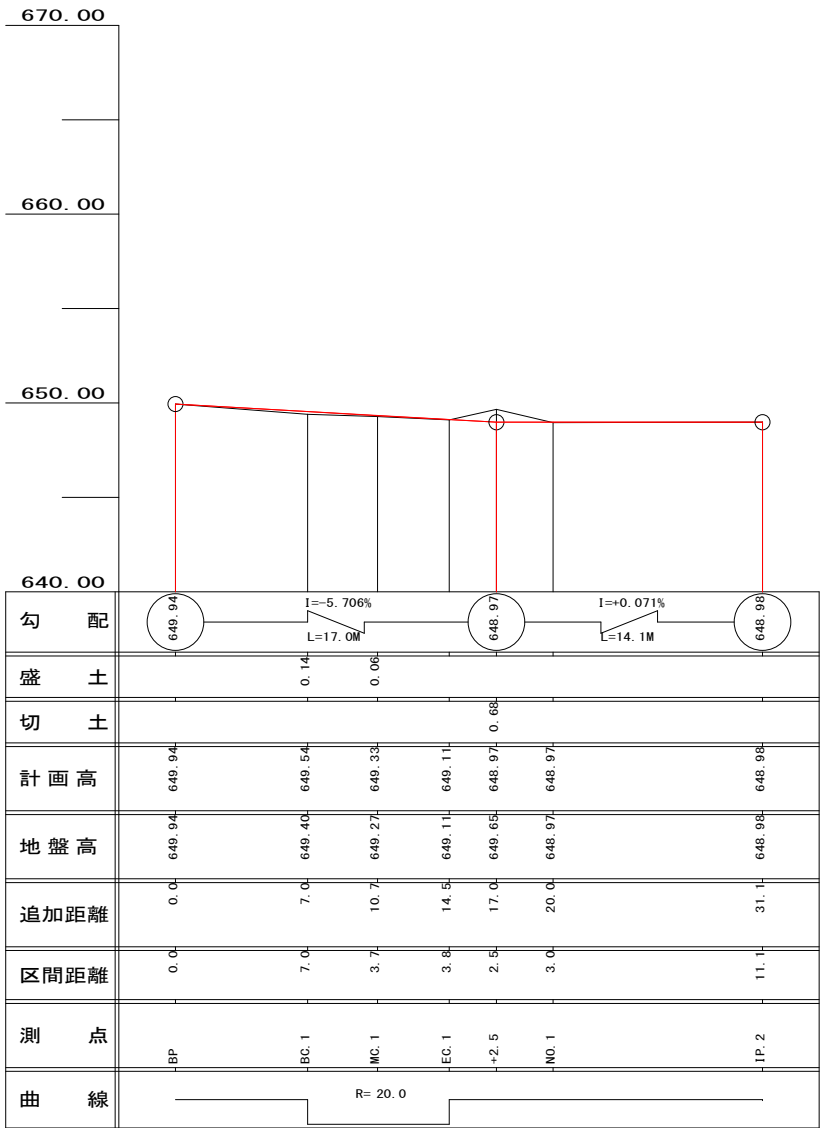


縮尺 1:100 (A1)
縮尺 1:200 (A3)



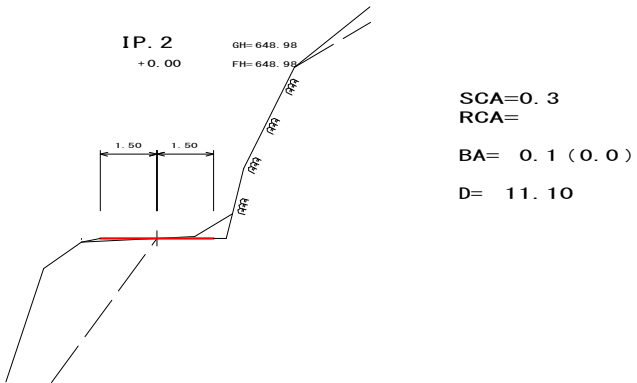
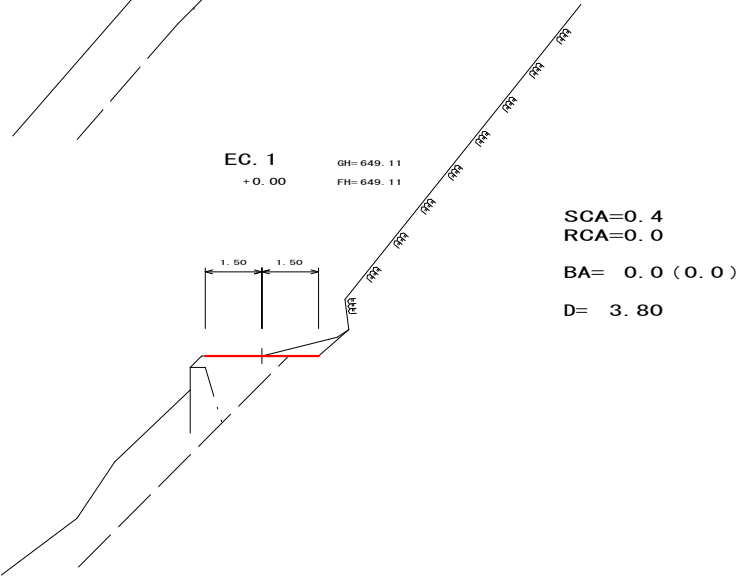
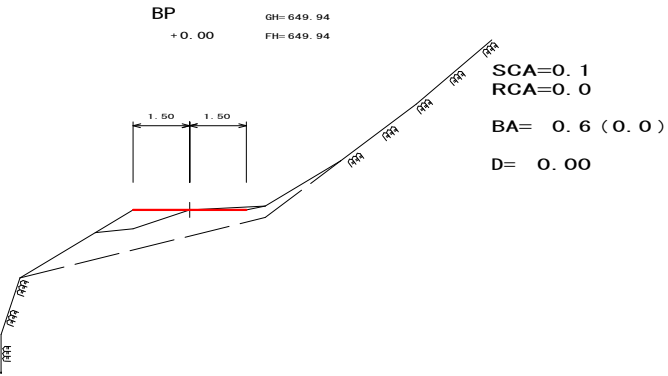
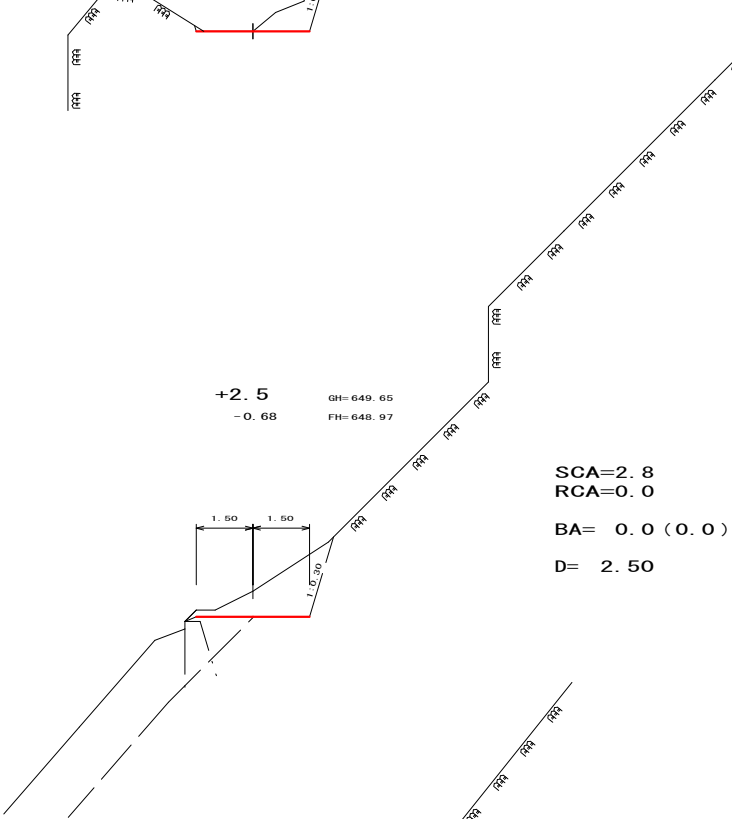
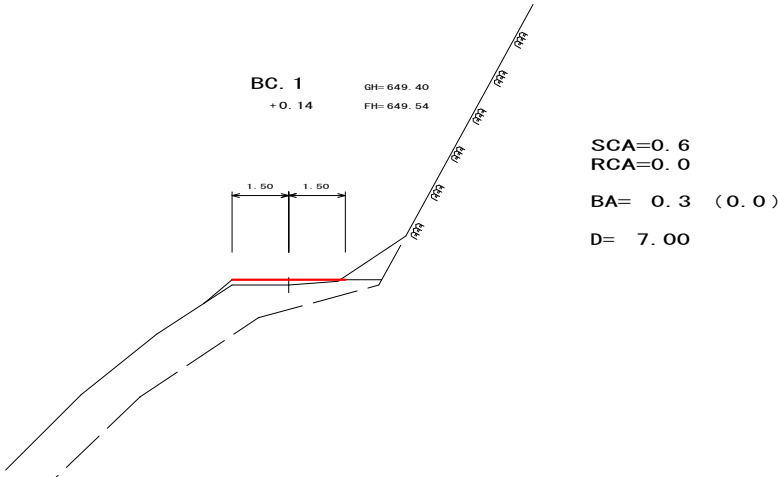
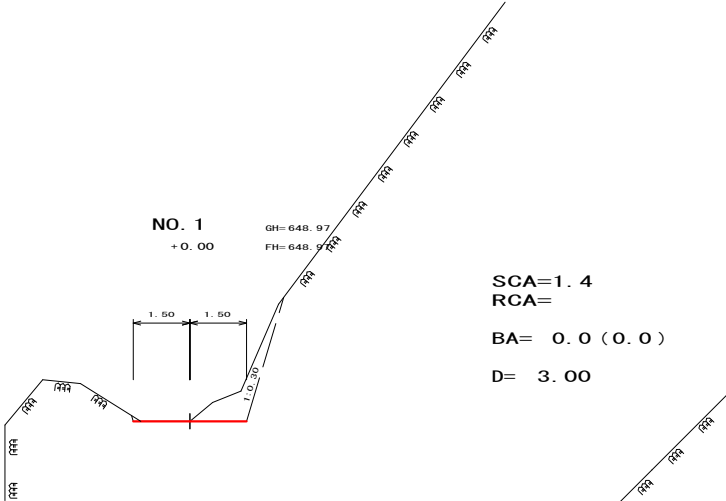
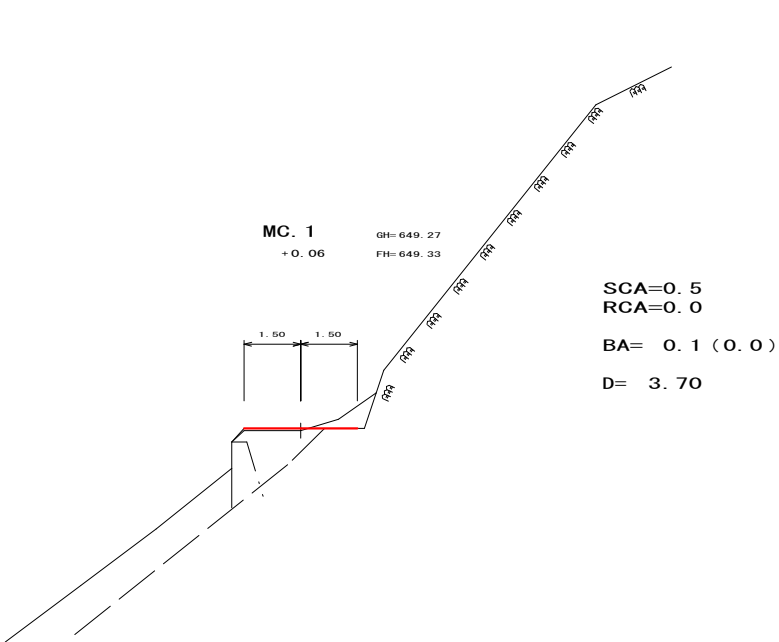
曲線設定表

IP	角度	距離	内角	R	TL	ES	CL	CL/2
1	158-30-00	10.8	150-30-00	20.00	3.80	0.36	7.50	3.75
		20.4						



路 線 名	花ノ木平線	事 業 名	県営林作業道補修工事			
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	20KM/H	
年 度	令和 8 年度	施工主体	埼玉県農林公社			
名 称	横断面（1号箇所）		1	葉中	1 番	
施 行 地	ときがわ町地内					
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	審 査 者		設 計 者		

凡 例	
S C A	切土 (土砂)
R C A	切土 (岩)
B A	盛土・埋戻し (C)
()	埋戻し (C)
D	距 離
S P A	据削 (土砂)
R P A	据削 (岩)
U M	埋 戻 し

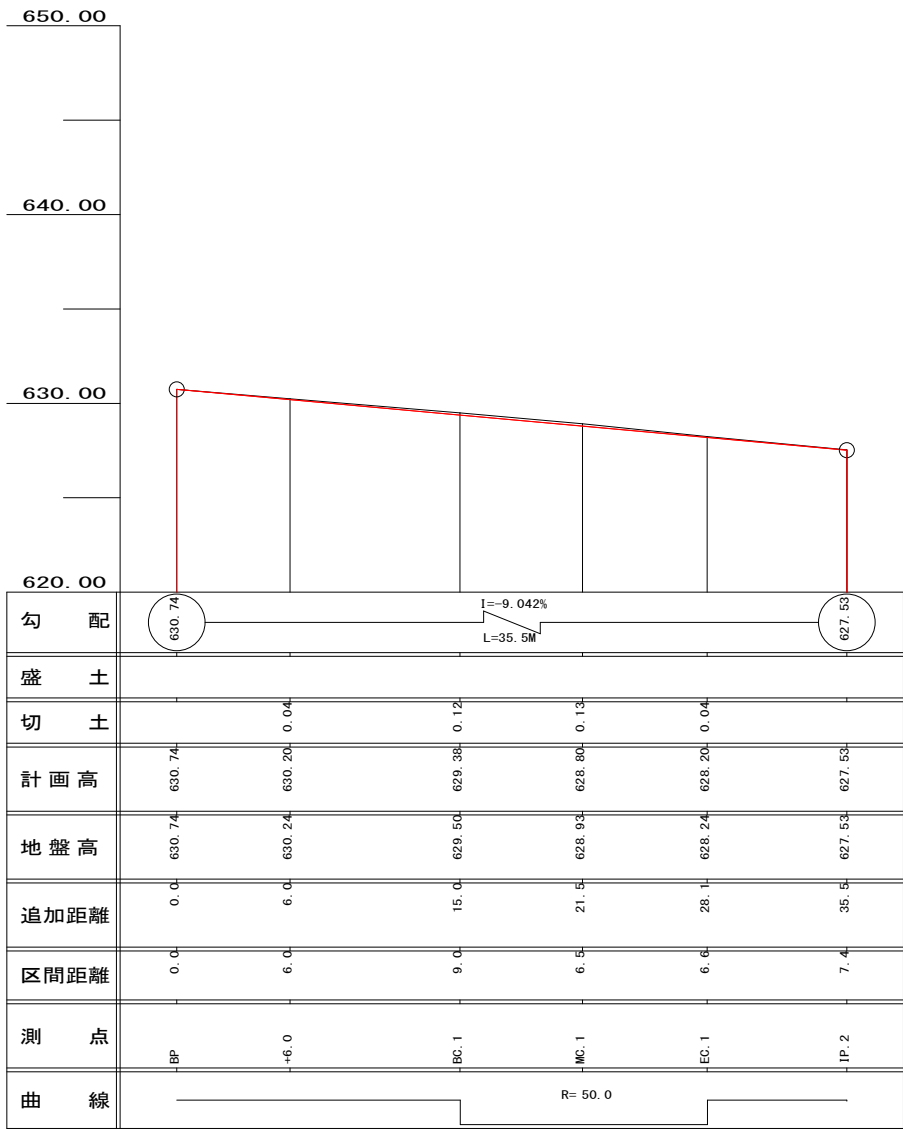
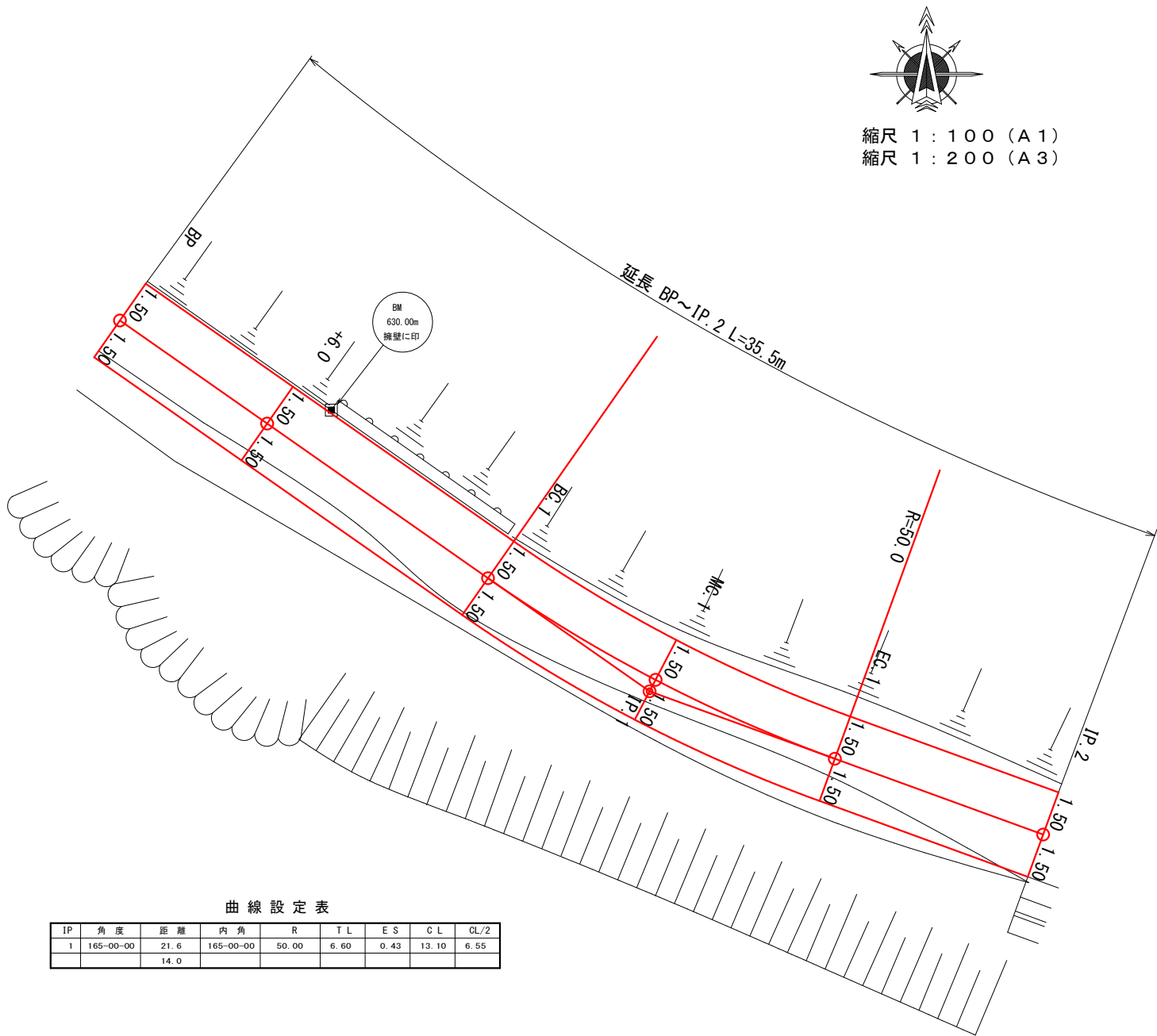


路 線 名	花ノ木平線	事 業 名	県営林作業道補修工事			
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	2 0 KM/H	
年 度	令和 8 年度	施工主体	埼玉県農林公社			
名 称	平面図・縦断図（2号箇所）		1	葉中	1 番	
施 行 地	ときがわ町地内					
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	審 査 者		設 計 者		

平面図・縦断図・横断図 S=1:100

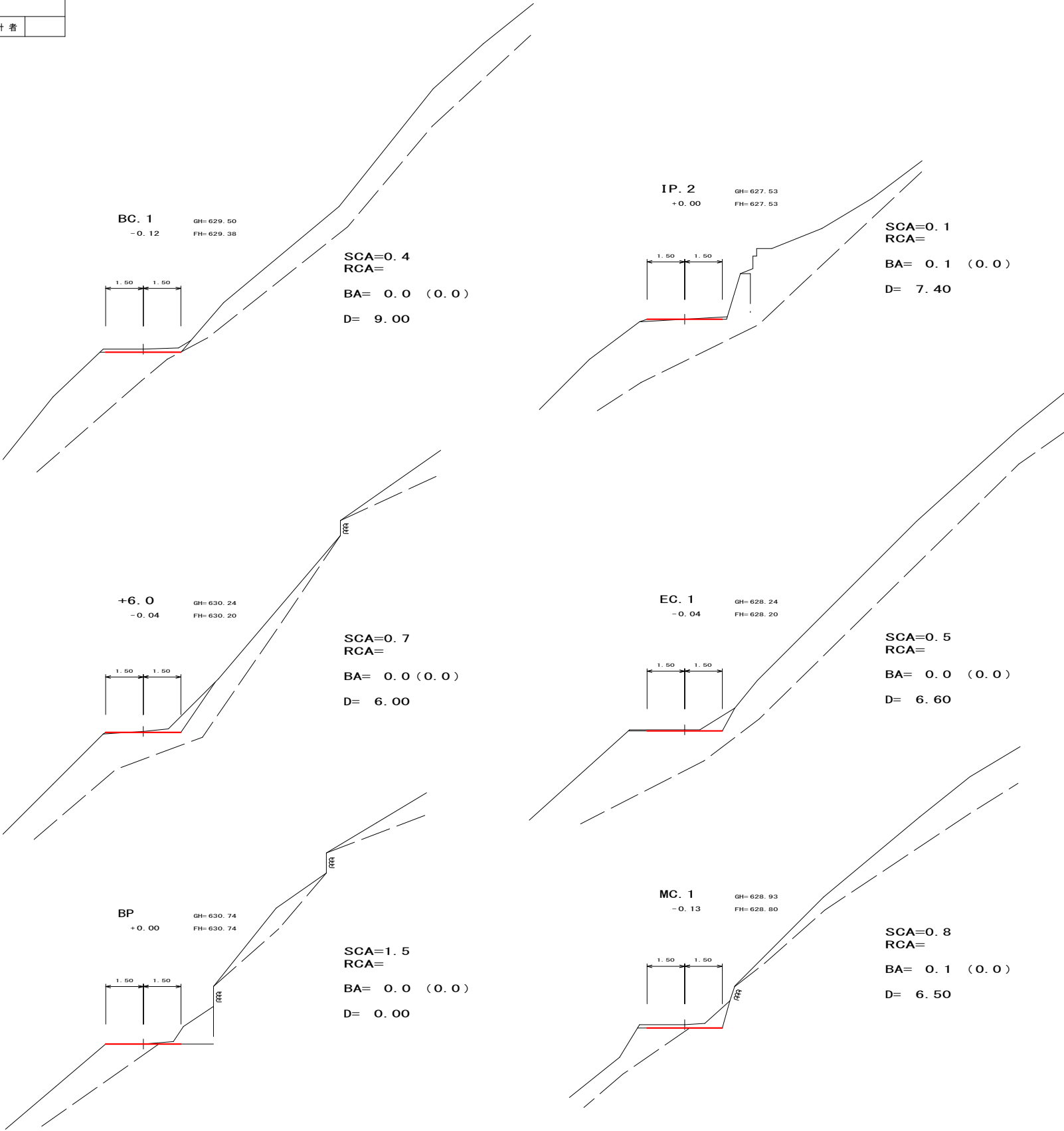
平面図

縦断図



路 線 名	花ノ木平線	事 業 名	県営林作業道補修工事		
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	20km/h
年 度	令和 8 年度	施工主体	埼玉県農林公社		
名 称	横断面（2号箇所）		1 葉中	1 番	
施 行 地	ときがわ町地内				
縮 尺	1/100(A1) 1/200(A3)	審 査 者		設 計 者	

凡 例	
S C A	切土（土砂）
R C A	切土（岩）
B A	盛土・埋戻し（C）
（ ）	埋戻し（C）
D	距 離
S P A	掘削（土砂）
R P A	掘削（岩）
U M	埋 戻 し

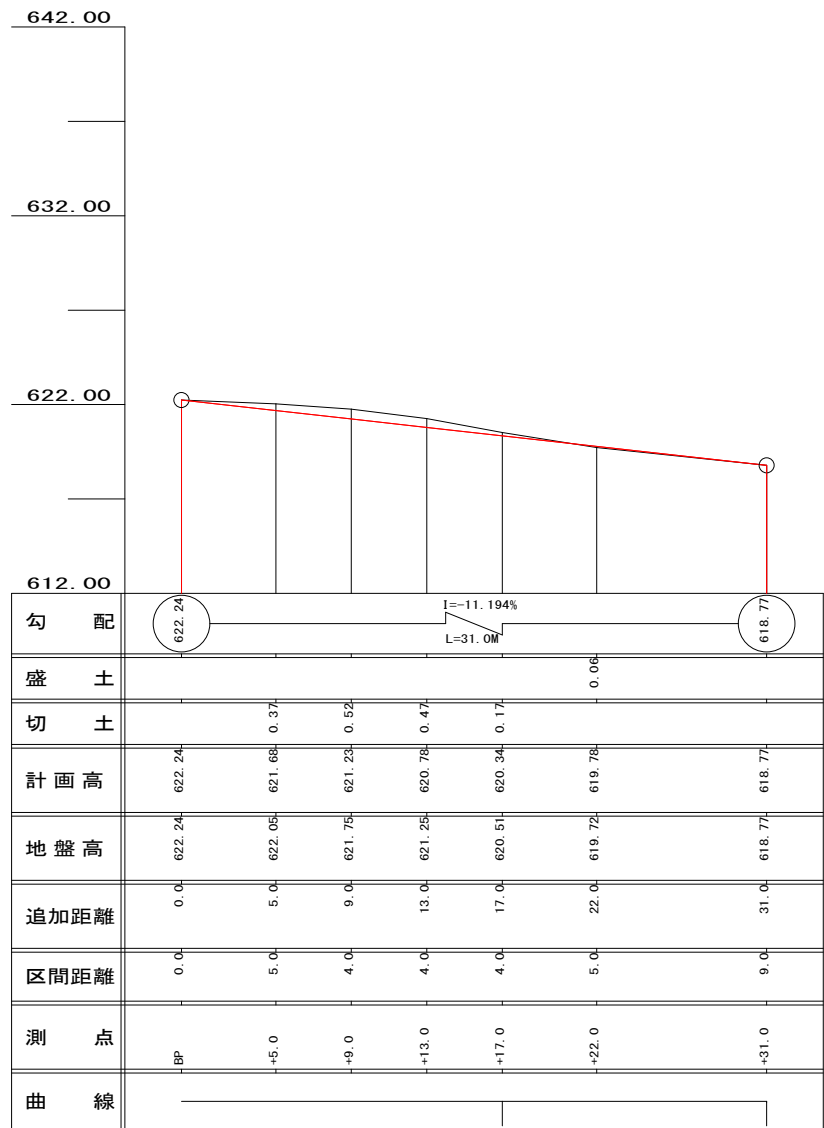
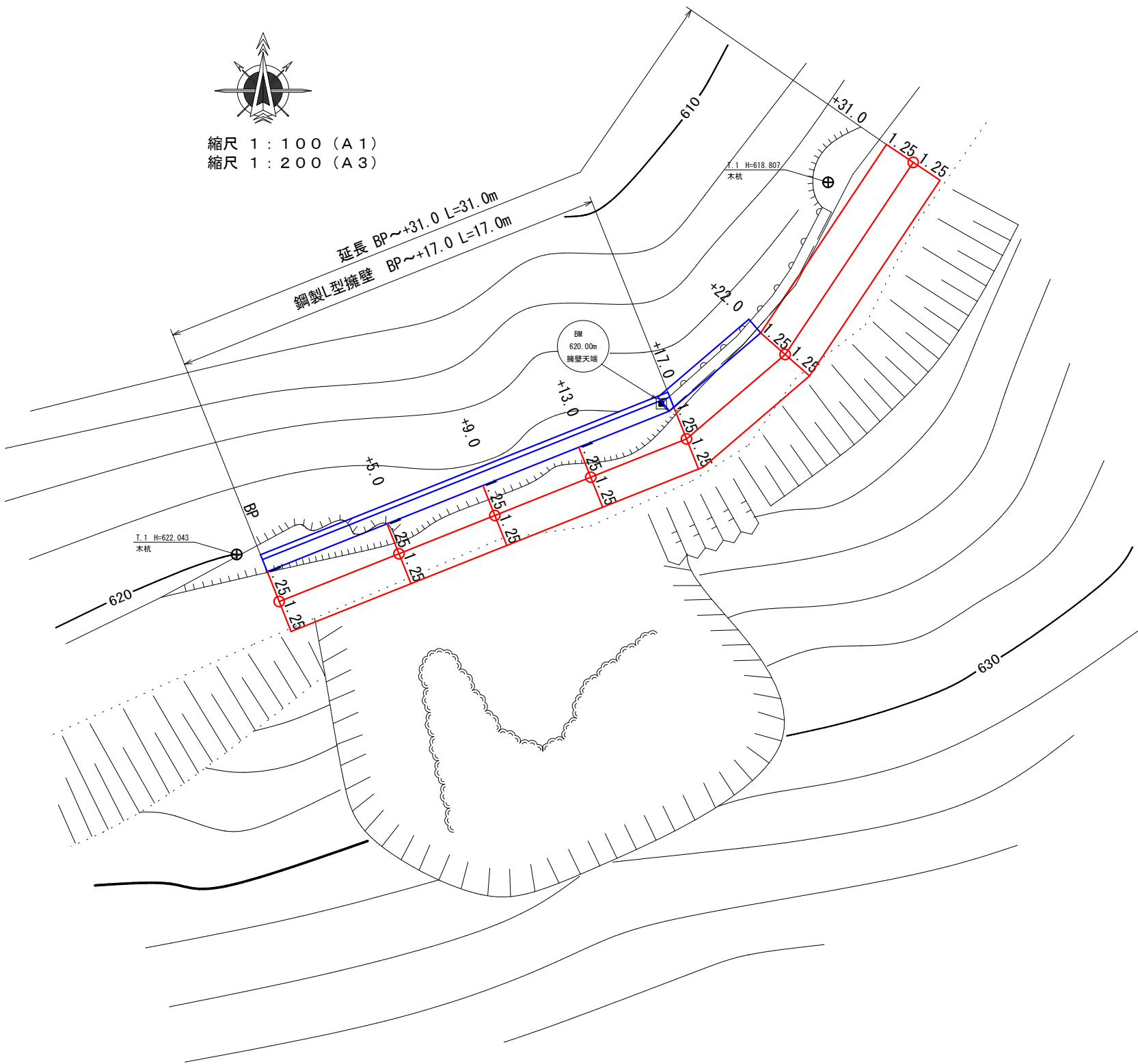


路線名	花ノ木平線	事業名	県営林作業道補修工事		
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3級	設計速度	20km/h
年度	令和8年度	施工主体	埼玉県農林公社		
名称	平面図・縦断図（3号箇所）		1	葉中	1番
施行地	ときがわ町地内				
縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	審査者		設計者	

平面図・縦断図 S=1:100

平面図

縦断図

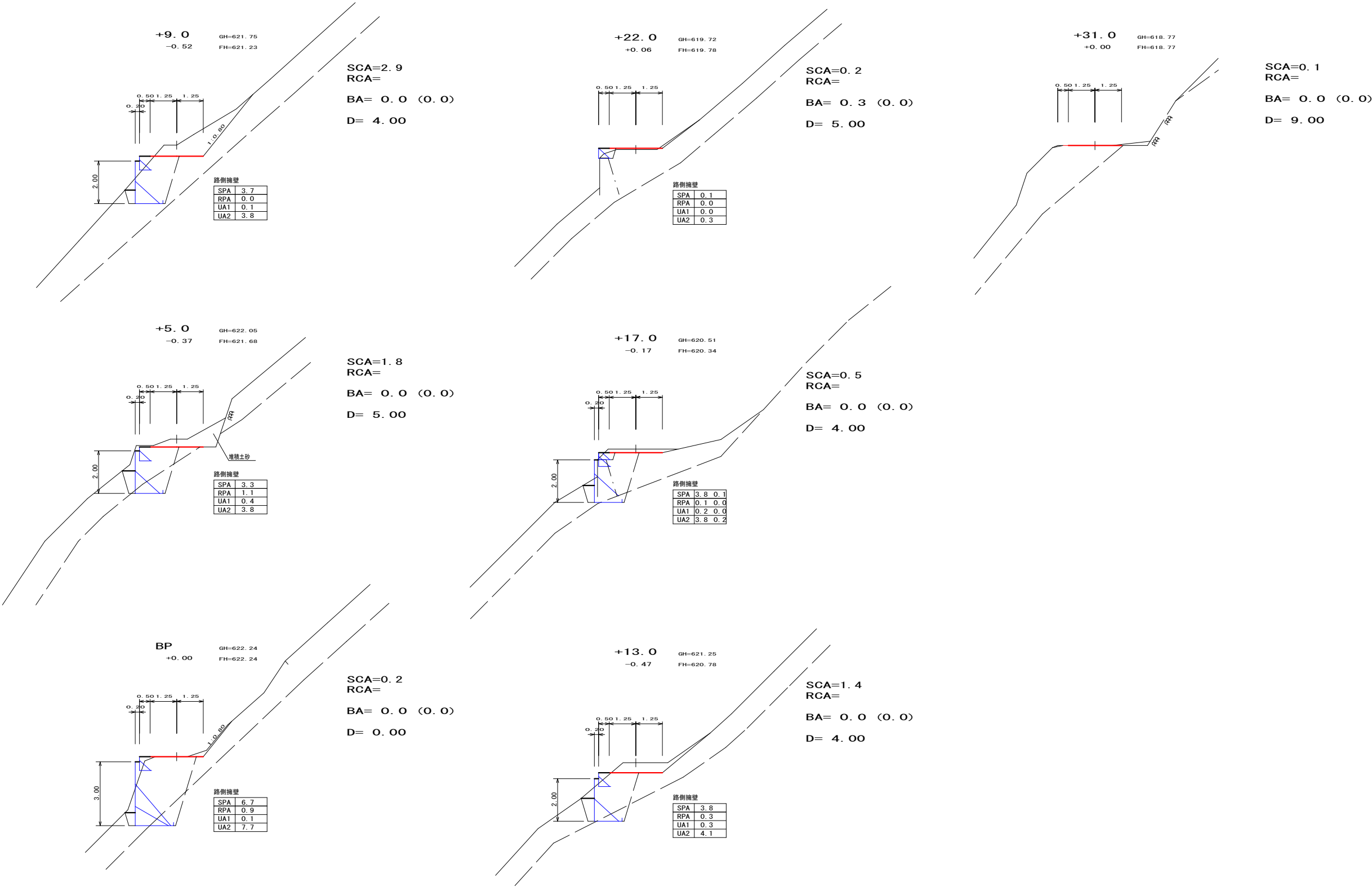


路線名	花ノ木平線	事業名	県営林作業道補修工事		
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3級	設計速度	20KM/H
年度	令和8年度	施工主体	埼玉県農林公社		
名称	横断面(3号箇所)		1 葉中	1 番	
施行地	ときがわ町地内				
縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	審査者		設計者	

横断面

S=1:100

凡 例	
SCA	掘削(土砂)
RCA	掘削(岩)
B	A盛土
D	距離
SPA	床置(土砂)
RPA	床置 軟岩(Ⅰ)B
UA1	埋戻し(前面)
UA2	埋戻し(背面)

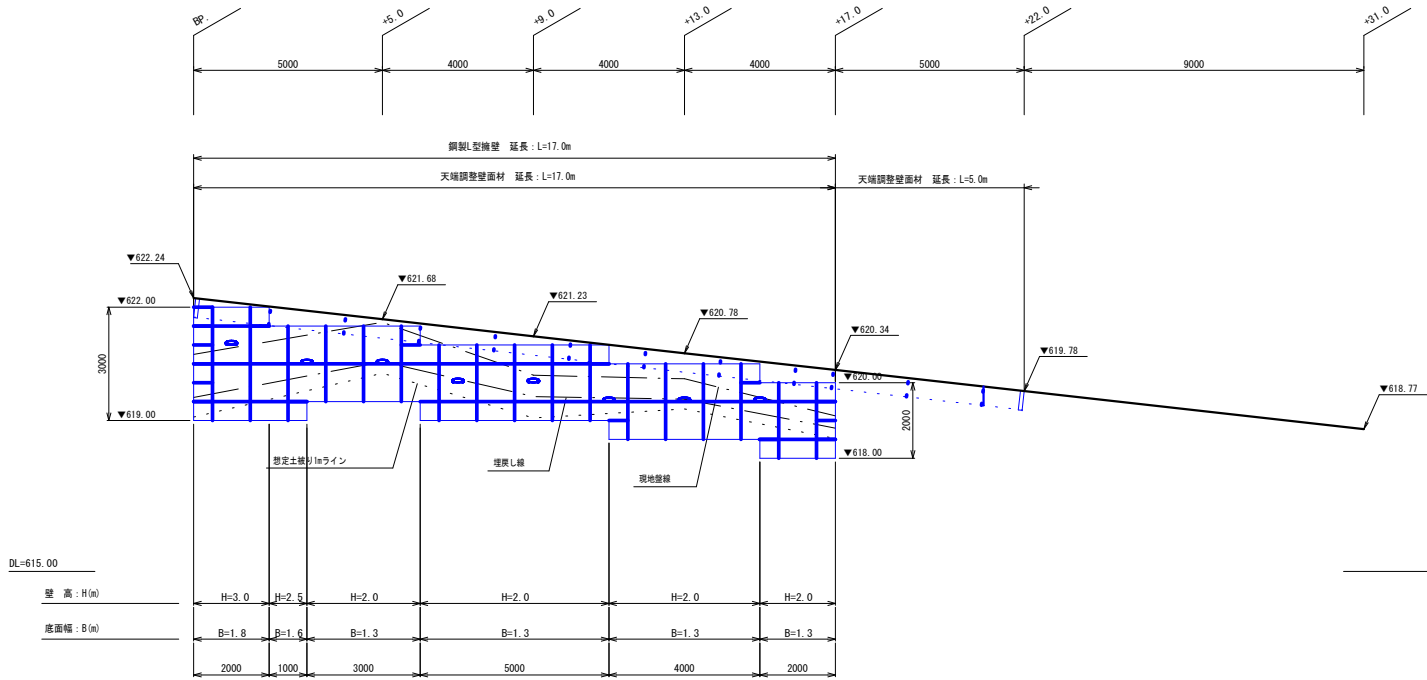


路線名	花ノ木線3号線	事業名	県営林作業道補修工事		
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3級	設計速度	20KM/H
年度	令和8年度	施工主体	埼玉県農林公社		
名称	鋼製L型擁壁工一般図(3号箇所)		1 案中	1 番	
施行地	ときがわ町地内				
縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	審査者		設計者	

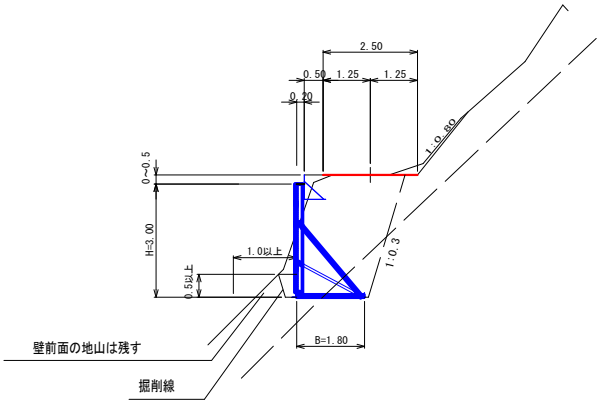
鋼製L型擁壁工一般図

(3号箇所)

S=1:100



標準断面図



設計条件	
盛土材の内摩擦係角	$\phi = 35^\circ$
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18.0 \text{ kN/m}^3$
総荷重(活荷重)	$w = 0.0 \text{ kN/m}^2$

最大地盤反力度	
測点: BP	常時 $q_{\text{max}} = 105\text{kN/m}^2$ 震時 $q_{\text{max}} = 300\text{kN/m}^2$

特記事項

- ・盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改良する事を前提とする。
- ・背面の掘削面に漏水がある場合は、補強留域に水が侵入しないような排水対策を施すこと。
- ・実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足するか確認すること。
- ・施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うものとする。

施工管理基準値	
項目(順度)	管理値又は許容値
盛土材の締固度 (盛土材500mに1回)	・ JIS A 1210のA 別法による最大乾燥密度の95%以上、C. D. E法で90%以上とする。 ・ 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	・ 所定の壁面勾配 $\pm 0.03\text{H}$ (H:壁高)

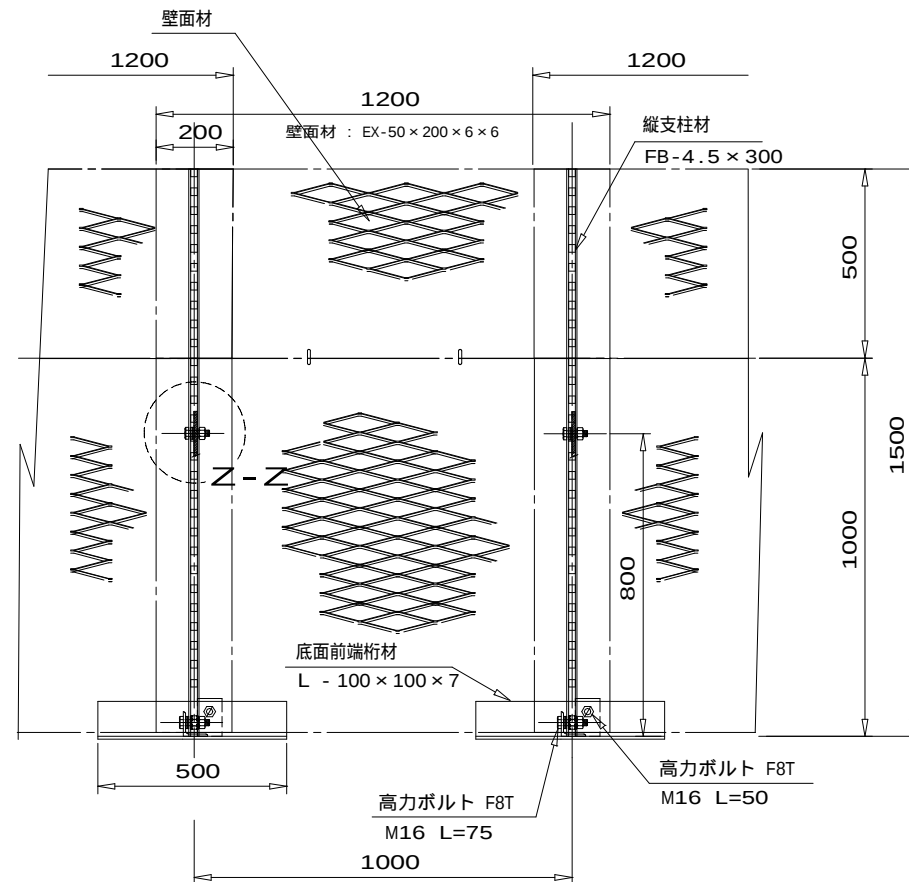
凡例

- 壁面材(1.0m)
- 壁面材(0.5m)
- 端部壁面材(0.5m)
- 排水材(10x300)
- 天端側面板
- 現地盤線
- 埋戻し線
- 水平土被り1mライン

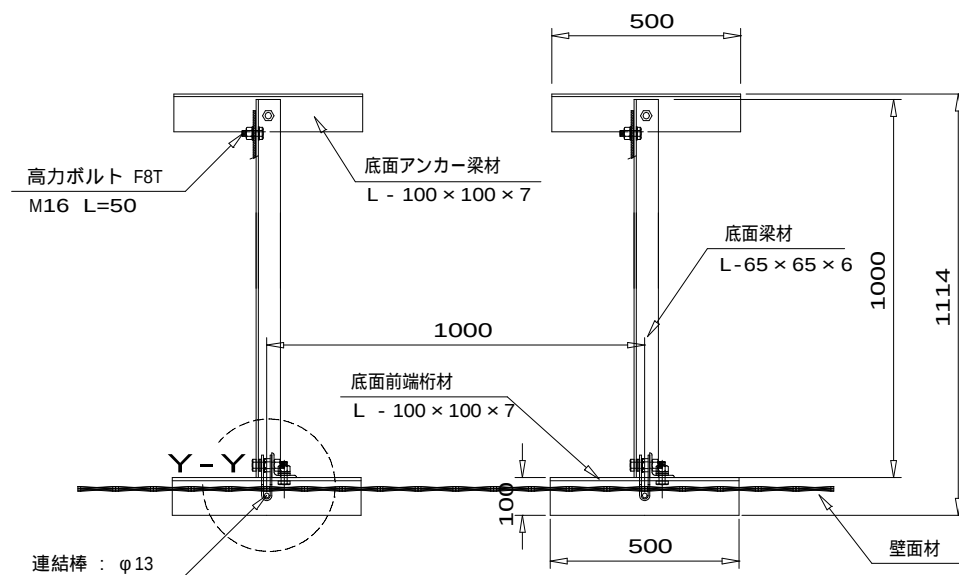
L Xウォール 構造詳細図 A3(s=1/20)

- H = 1.5m -

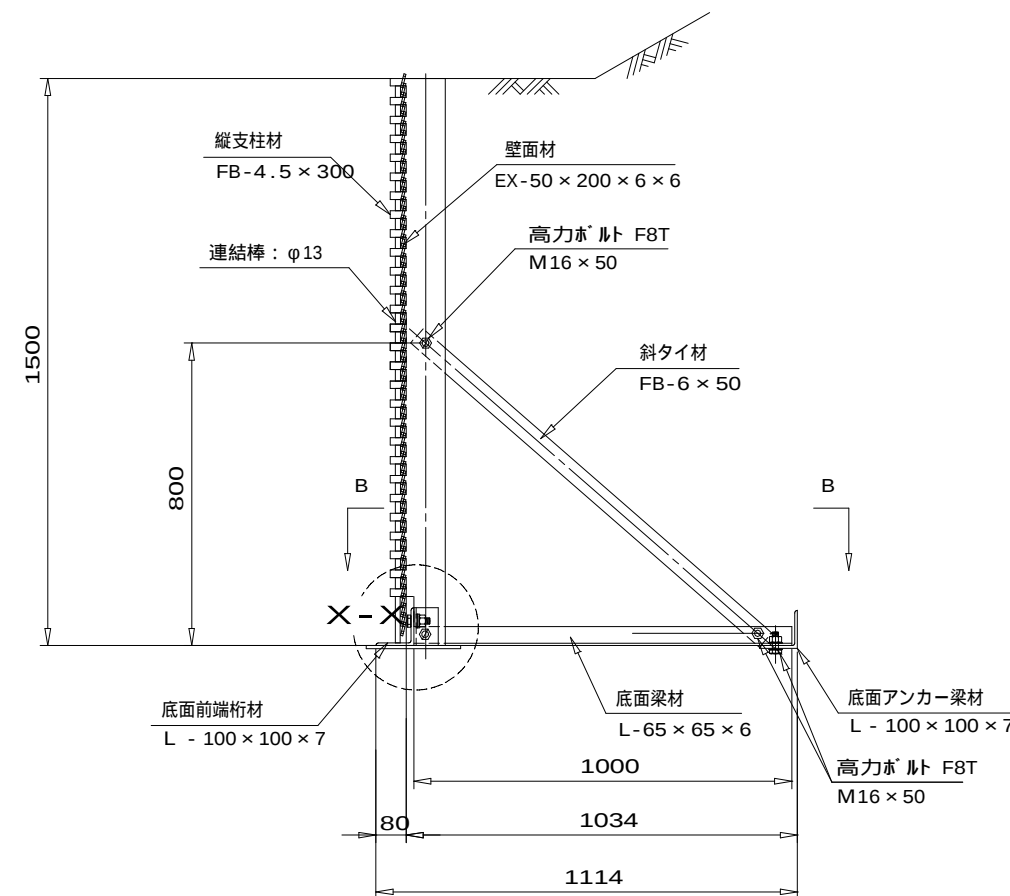
正面図



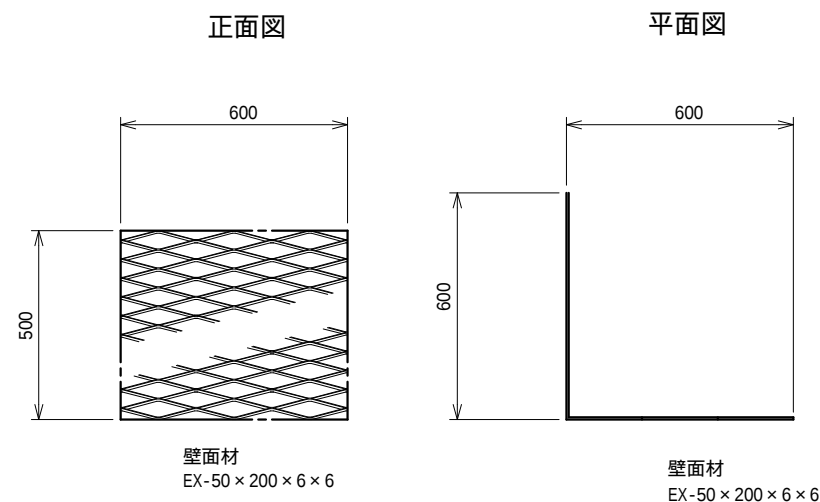
平面図 (B-B)



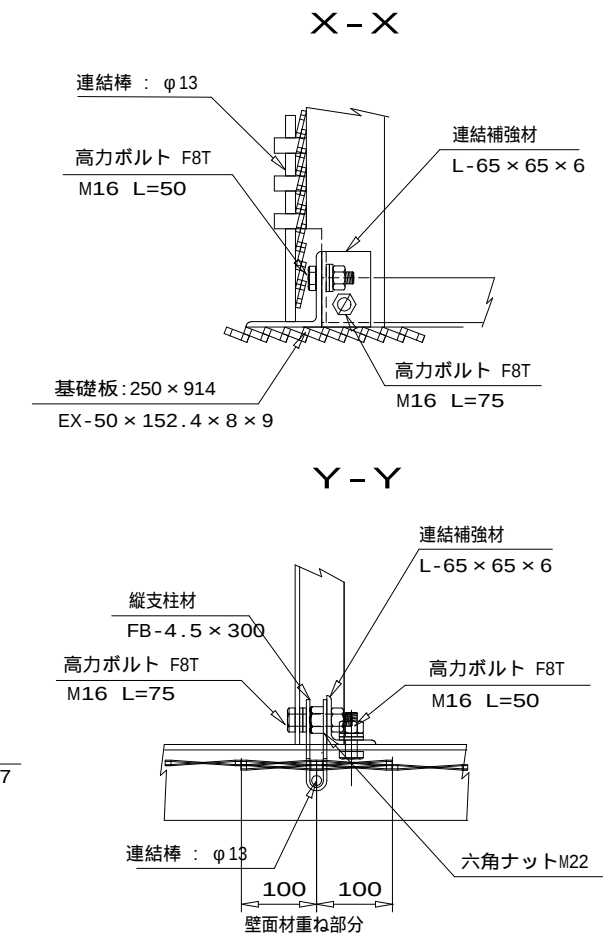
断面図



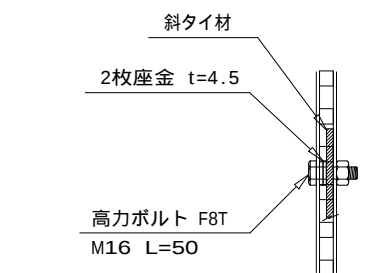
端部壁面材 (側面板)



部分詳細図 (S = 1/10)



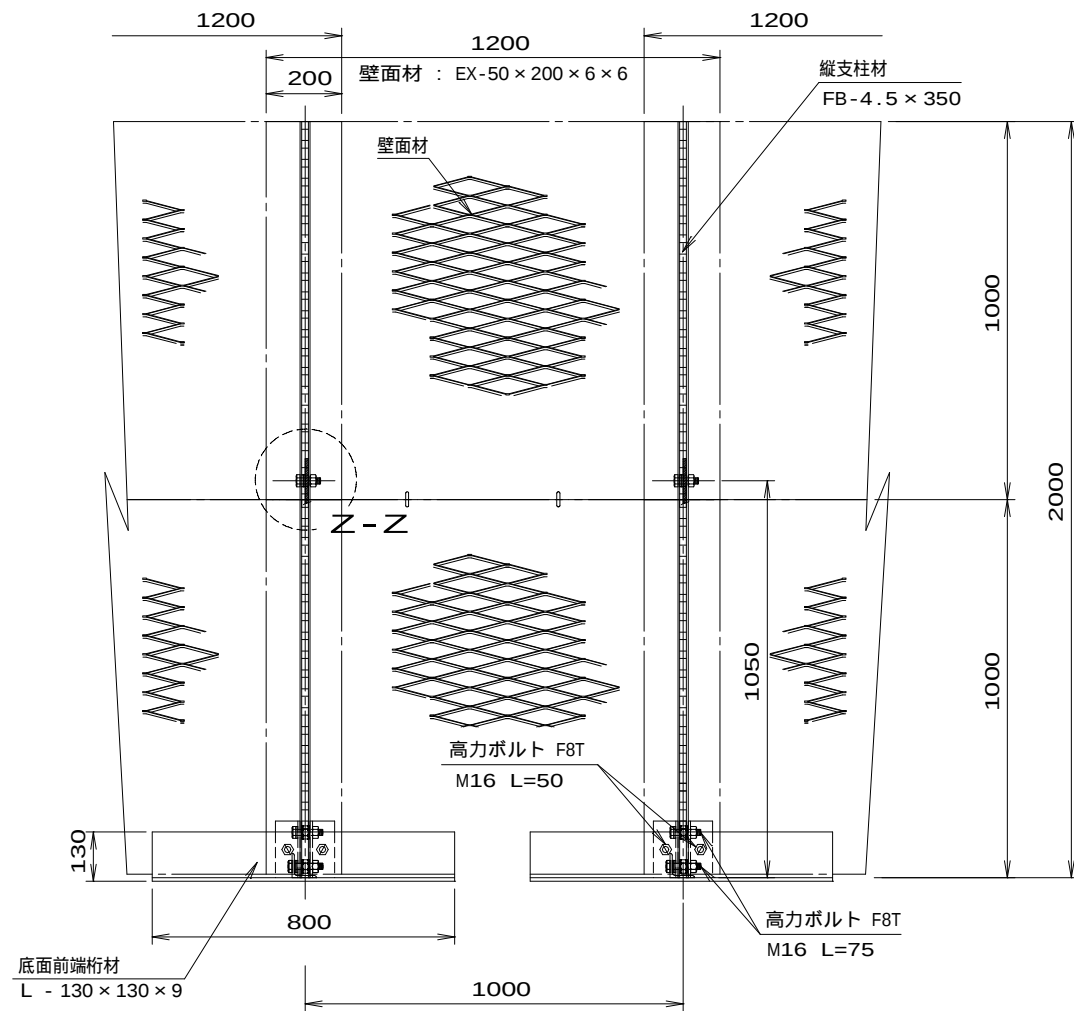
Z-Z



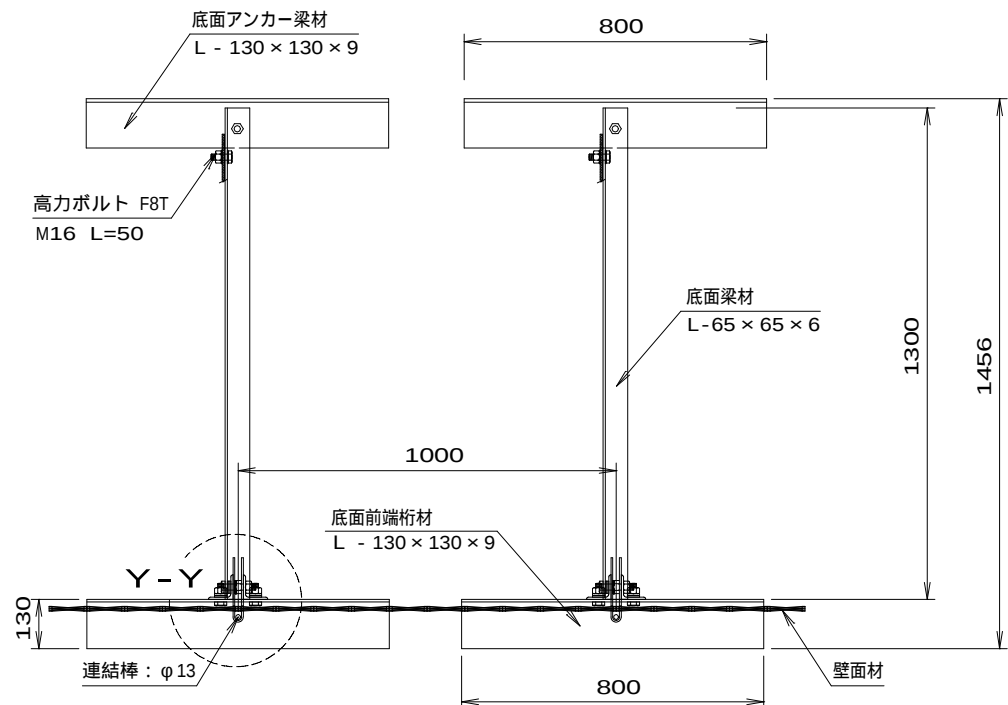
注：斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

- $H = 2.0\text{m}$ -

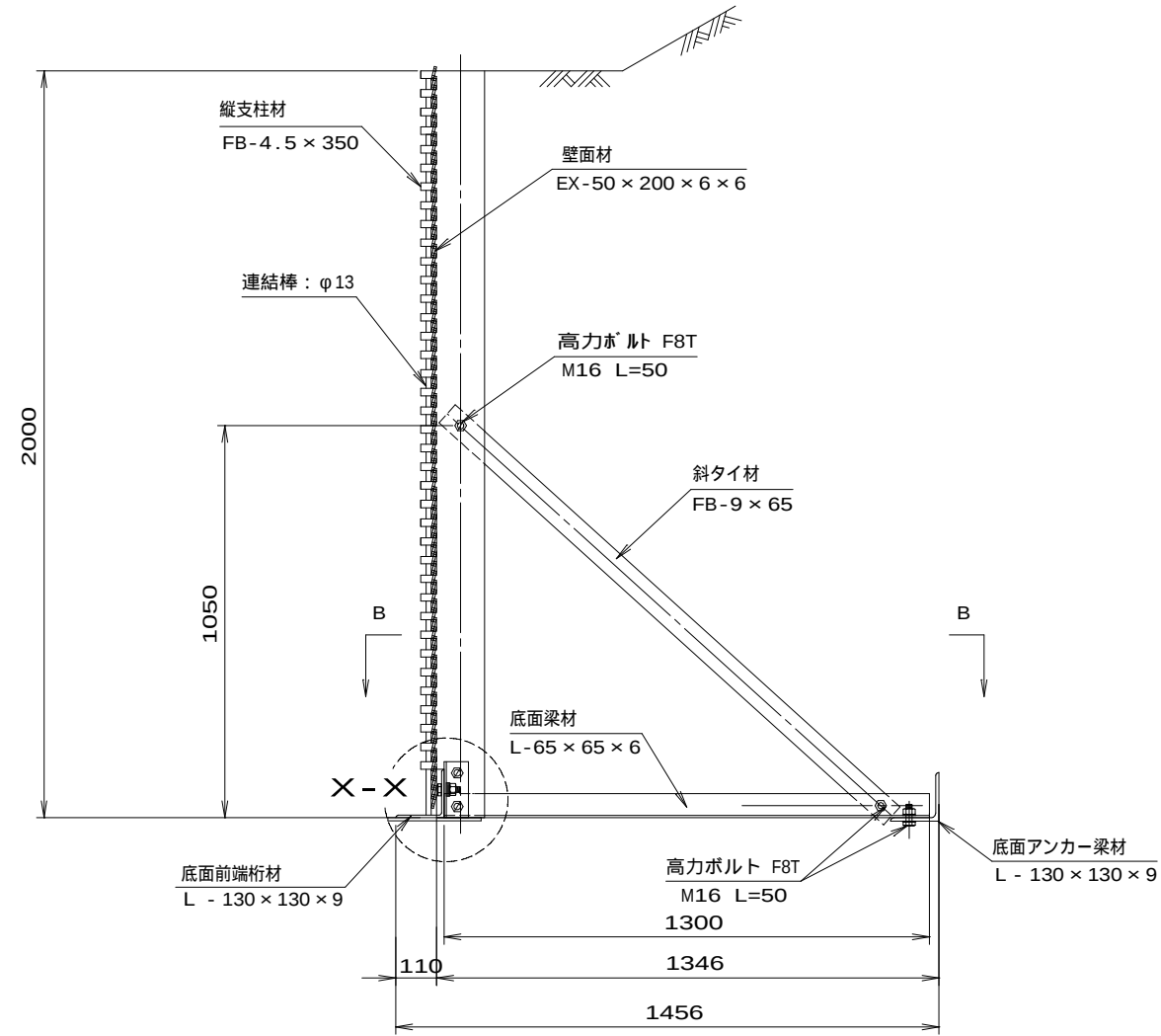
正 面 圖



平 面 图 (B-B)

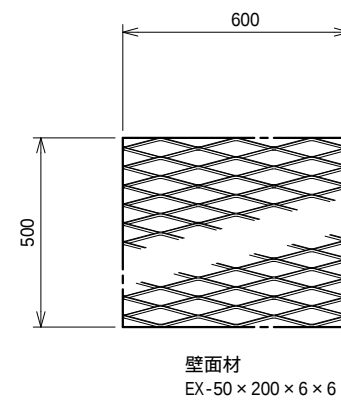


断面図

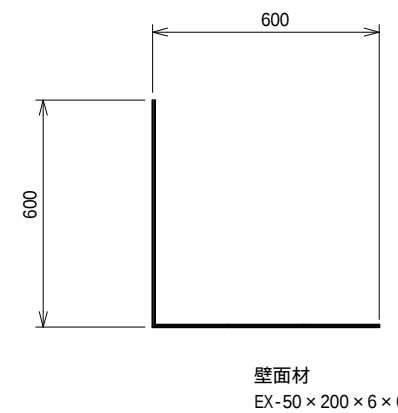


端部壁面材（側面板）

正面図

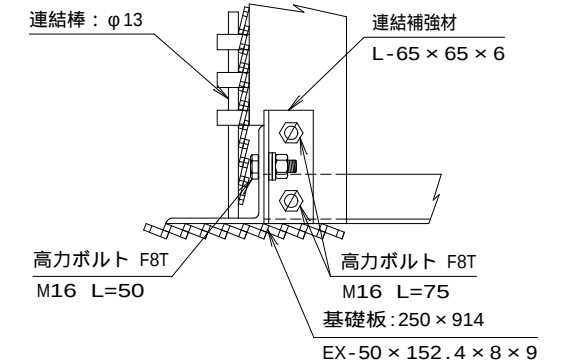
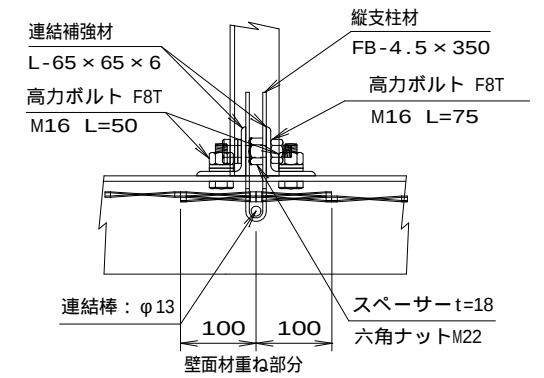
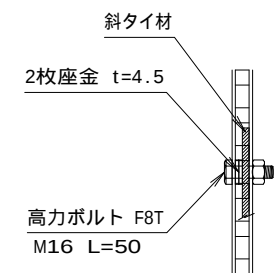


平面図



部分詳細図 ($S = 1/10$)

X-X

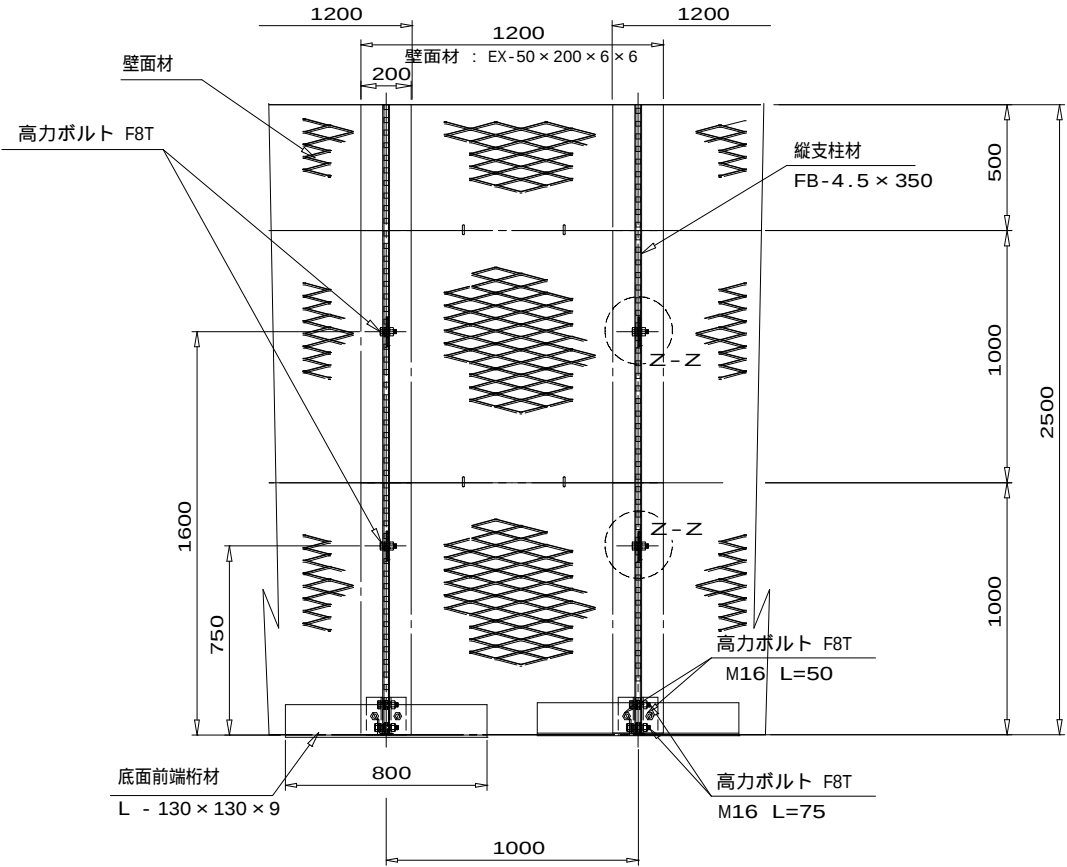

$$Y - Y$$

$$Z-Z$$


注：斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

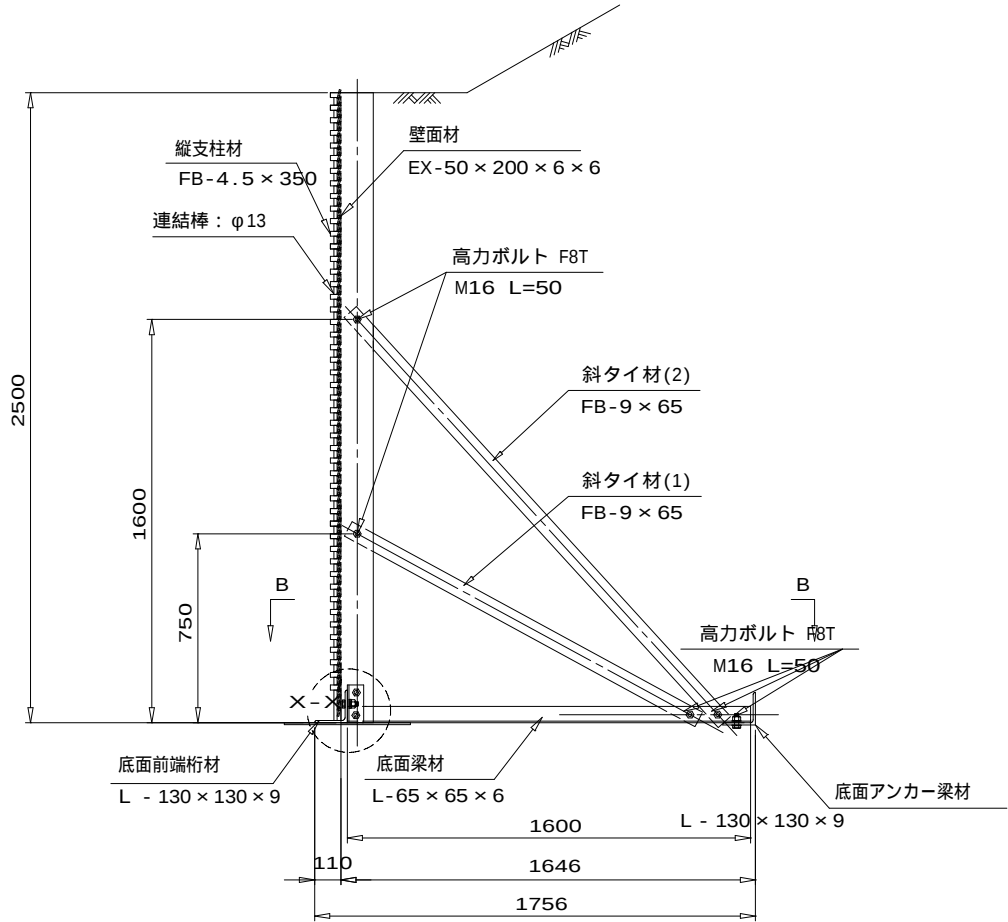
L Xウォール 構造詳細図 A3(s=1/30)

- H = 2.5m -

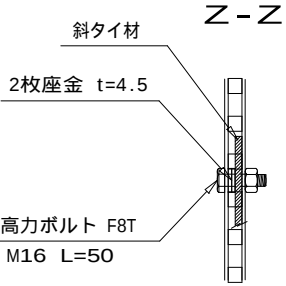
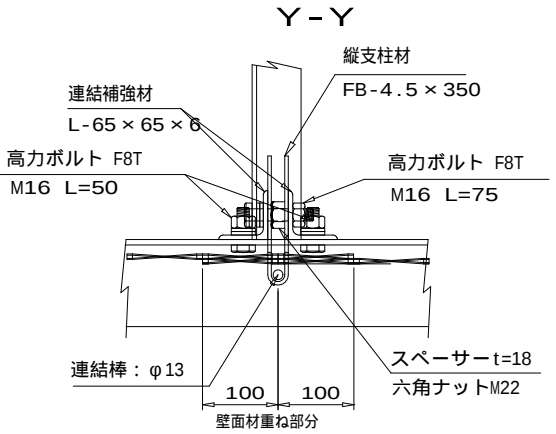
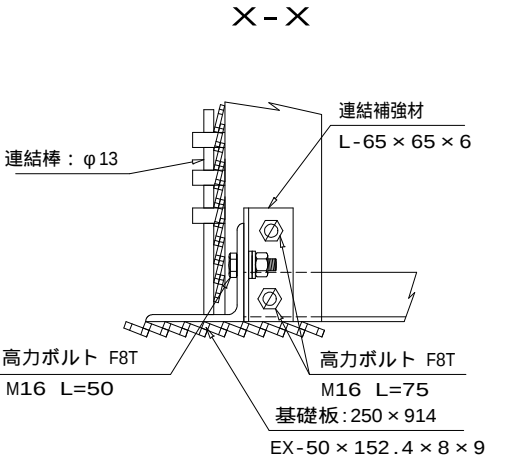
正面図



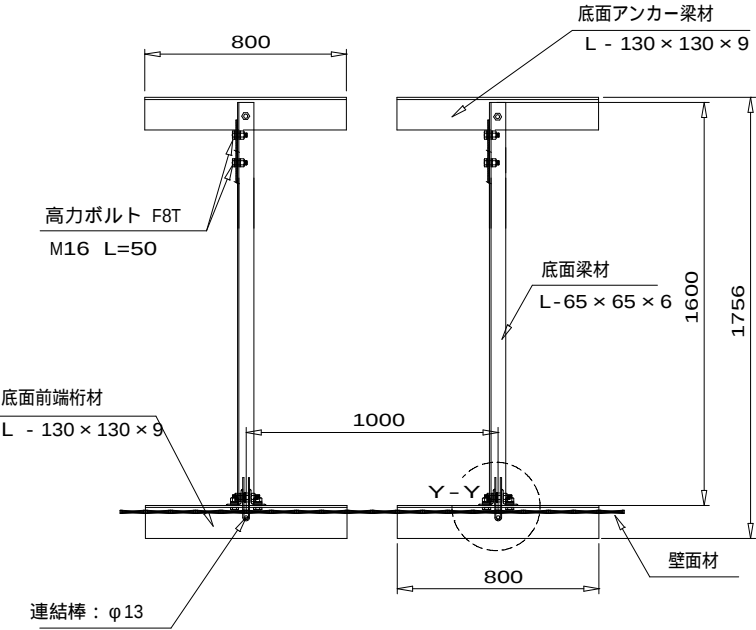
断面図



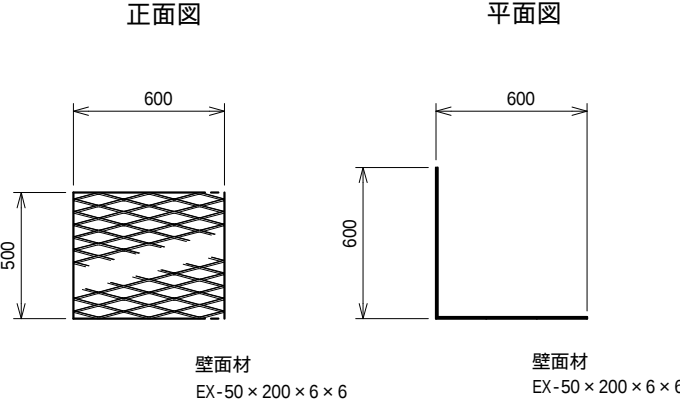
部分詳細図 (S = 1/10)



平面図 (B-B)



端部壁面材 (側面板)

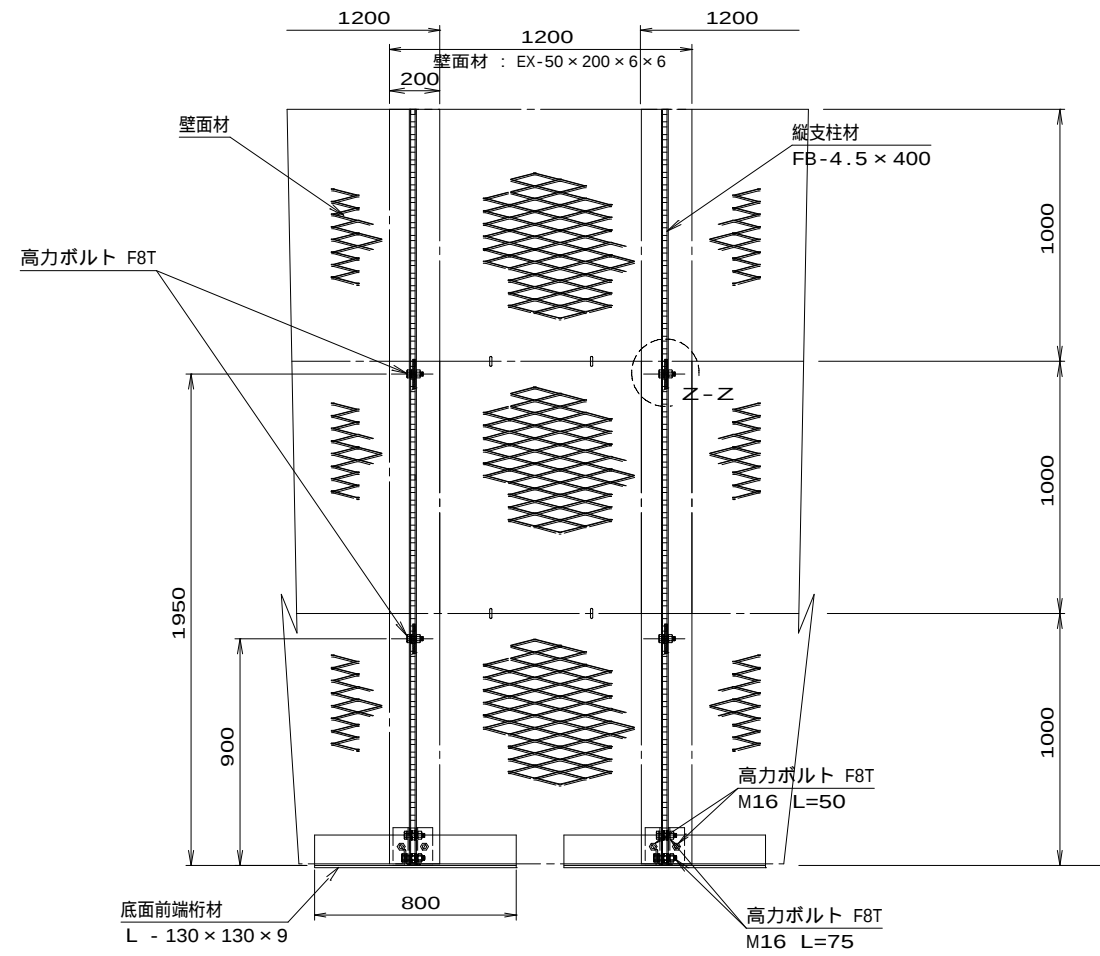


注：斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

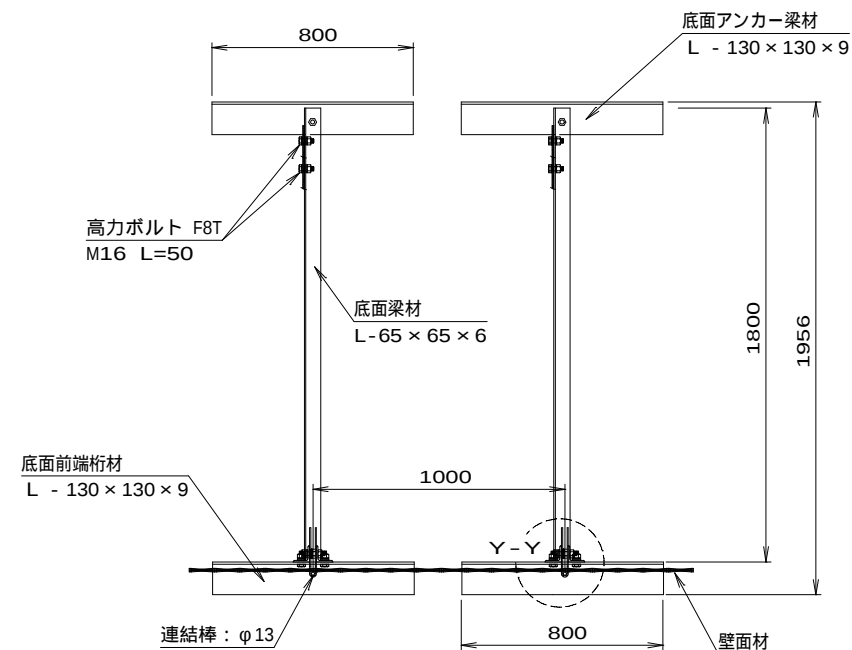
鋼製 L 型擁壁構造詳細図 A3(s=1/30)

- H = 3.0m -

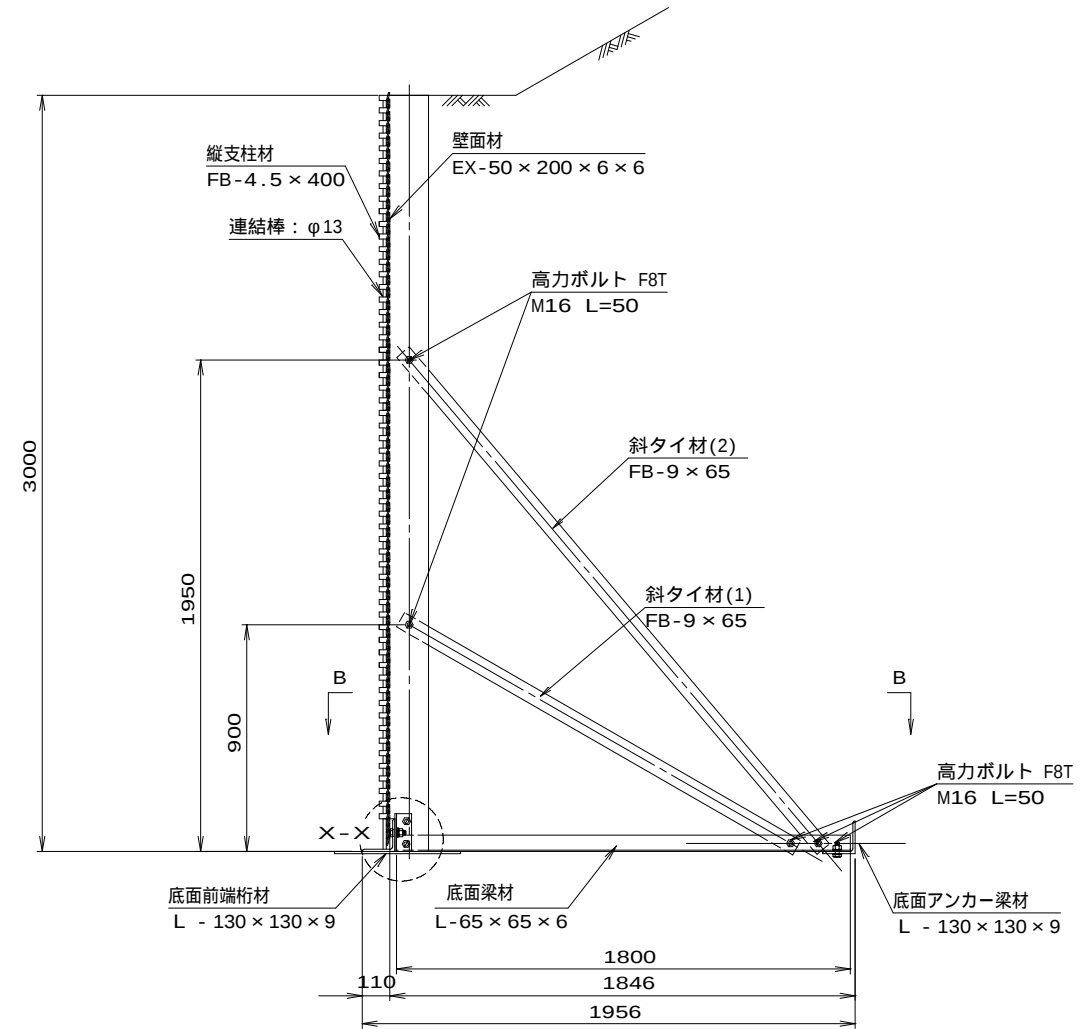
正面図



平面図 (B-B)

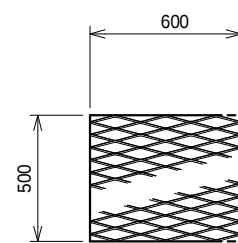


断面図



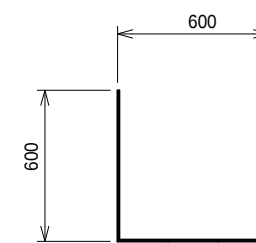
端部壁面材 (側面板)

正面図



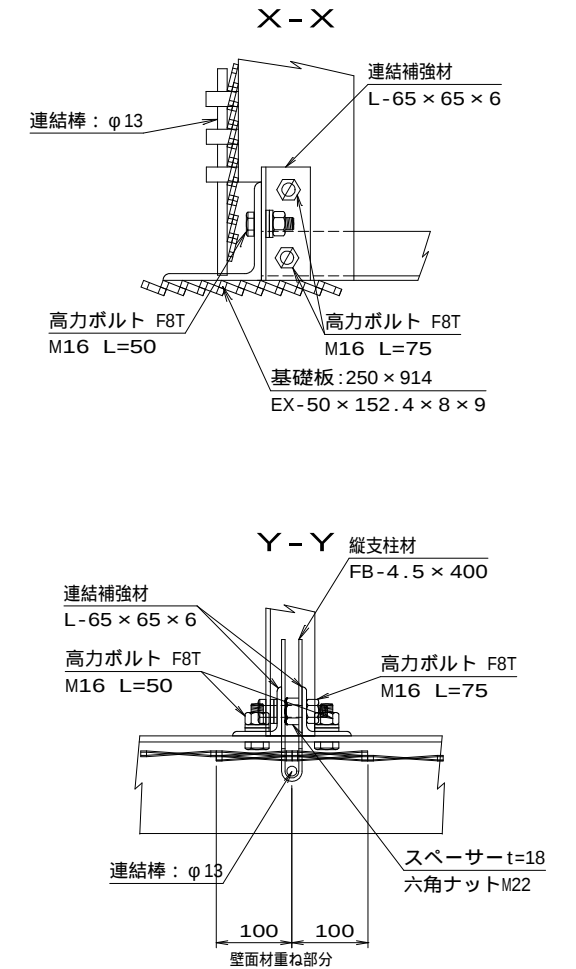
壁面材
EX-50 x 200 x 6 x 6

平面図

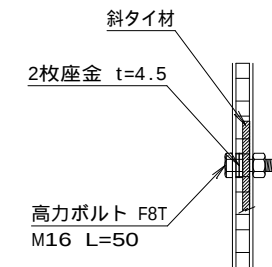


壁面材
EX-50 x 200 x 6 x 6

部分詳細図 (S = 1/10)



Z-Z



注: 斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入